

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

「早期舌癌の予後予測因子として簇出やマクロファージの検討」に関する研究

1. 研究の対象

2013年1月1日から2023年3月31日までの間に、当院口腔外科にて舌癌に対して、舌腫瘍切除術の手術を受けられた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2027年3月31日
26 213

3. 研究目的・方法

目的

舌がんは口腔がんのうち最も頸部リンパ節転移が生じやすいとされ、頸部リンパ節転移を伴うと、著しくその後の生命予後が低下すると言われています。舌がんと頸部リンパ節転移との関係性は、腫瘍の大きさや深さとの関連性が報告されていますが、手術の前に頸部リンパ節転移の有無を判別する方法は、未だ統一されていません。近年では、腫瘍微小環境におけるマクロファージの存在に注目が集まっており、がん細胞の増殖には、大きな影響を及ぼすと報告されています。口腔がんの増殖を示す形態学的特徴として「簇出」があります。このことから、口腔がんの増殖能に関して調査するため頸部リンパ節転移と簇出、マクロファージとの関連性を明らかにすることを目的とした研究を実施することとしました。

当院において舌癌の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに舌癌のデータを選びマクロファージの発現と頸部リンパ節転移に及ぼす影響に関する分析を行い、これら2つの関連性を調査します。

方法；この研究に使用する試料として、すでに保存されている項目4に記載する検体等を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：病理標本
- ・情報：年齢、性別、診断名、治療内容、画像診断結果、病理診断、術後経過、生命予後

5. 情報の提供先・提供方法

本研究で得られた情報・データ等を他機関などへ提供する予定はありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属八王子病院（電話：代表 042-639-1111 内線：5125）

研究責任者 口腔外科 唐木田一成

問い合わせ担当者 口腔外科 山崎 雅恵